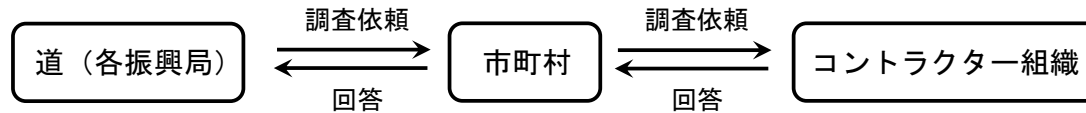


## コントラクター実態調査結果(平成29年度)

平成31年4月  
農政部農業経営局農業経営課

- この調査は、道が各市町村に依頼し、各市町村からコントラクター組織に調査票を送付して行ったアンケート調査と、各市町村に対して行ったアンケート調査をとりまとめたものである。

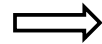


### ○ 結果の概要

#### 1 組織について (H30. 3月時点)

市町村が把握している  
コントラクター組織数

326組織



うち回答数

287組織

- ①耕種 174組織 (耕種・飼料作物混合を含む)
- ②畜産 113組織 (飼料作物のみ)

- ・ 全体の組織数は326組織で前回調査時の324組織から2組織増の横ばいであった。
  - ・ 地域別のコントラクター組織数は多い順に、上川が74、空知が61、根室が52となっている。
  - ・ コントラクターの組織形態では営農集団が89組織と最も多く、全体の31%を占めている。
  - ・ 職員の業務区分ではオペレーター部門の職員が最も多く、全体の71%を占めている。
- #### 2 活動について (H29. 4月~H30. 3月)
- ・ 一組織が受託する実面積の平均は、耕種が310ha、畜産が1,020haであった。
  - ・ コントラクター事業の収支状況は「余剰がある」または「均衡している」とした組織が90%であった。
- #### 3 市町村アンケートについて
- ・ コントラクター組織に対する今後の農作業委託ニーズについては「当面変わらない」が56%、「増えていく」が43%が多かった。
  - ・ 今後、地域のコントラクターが作業を受託できる能力は「現状維持」が74%、「増えていく」が16%が多かった。

コントラクター実態調査結果(平成29年度)のデータ

【留意事項】・設問により回答した組織数は異なります。

I 平成29年度コントラクター組織の概要

◆年度別コントラクター組織数

○各市町村に調査を実施した結果、平成30年3月末時点のコントラクター数は前年より2増の326組織となっている。

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
組織数	282	284	311	316	325	325	330	330	324	326

◆総合振興局・振興局別コントラクター組織数(耕種・畜産の区分:回答組織数287)

○地域別では、上川が74組織と最も多く、次いで空知(61組織)、根室(52組織)となっており、この3地域で全道の組織数の57.4%を占めている。

○耕種(耕種専業のほか飼料作物作業との複合を含む)と、畜産(飼料作物作業単独)で区分すると、宗谷、釧路、根室では全ての組織が畜産となっている。

振興局	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	計
合計	61	2	3	8	9	13	8	74	15	8	29	34	10	52	326
構成比(%)	18.7%	0.6%	0.9%	2.5%	2.8%	4.0%	2.5%	22.7%	4.6%	2.5%	8.9%	10.4%	3.1%	16.0%	100.0%
耕種	49	1	2	6	6	6	7	48	13	0	21	15	0	0	174
畜産	0	1	1	2	3	5	1	10	1	8	8	14	10	49	113
計	49	2	3	8	9	11	8	58	14	8	29	29	10	49	287

◆組織形態別コントラクター組織数(回答組織数287)

○組織形態別では、営農集団が89組織と最も多く、次いで、株式会社(64組織)、特例有限会社(56組織)が多い。この3つで全体の72.8%を占めている。

区分	農協	株式会社	特例有限会社	農事組合法人	営農集団(任意組織)	合同会社	その他	合計
組織数	26	64	56	11	89	15	26	287
構成比(%)	9.1%	22.3%	19.5%	3.8%	31.0%	5.2%	9.1%	100.0%

◆職員数(回答組織数260)

○職員総数2,903人のうち、オペレーター部門が2,059人と、全体の70.9%を占めている。

管理部門については(435人/2,903人=15.0%)、作業補助部門は(409人/2,903人=14.1%)とどちらも構成割合は小さい。

○非農家の割合は、管理部門(133人/435人=30.6%)とオペレーター部門(756人/2,059人=36.7%)に比べて、作業補助部門では(230人/409人=56.2%)と高くなっている。

○常勤、非常勤の区分では、管理部門では常勤(320人/435人=73.6%)が多いのに対し、オペレーター部門では非常勤(1,152人/2,059人=55.9%)、作業補助部門では非常勤(271人/409人=66.3%)と非常勤の割合が多くなっている。

○組織形態別に見ると、特に営農集団では非常勤(476人/716人=66.5%)が多い。

組織名	管理部門						オペレーター部門						作業補助部門						合計					
	常勤+非常勤		常勤		非常勤		常勤+非常勤		常勤		非常勤		常勤+非常勤		常勤		非常勤		常勤+非常勤		常勤		非常勤	
	うち非農家	うち非農家	うち非農家	うち非農家	うち非農家	うち非農家	うち非農家	うち非農家	うち非農家	うち非農家	うち非農家	うち非農家	うち非農家	うち非農家	うち非農家	うち非農家	うち非農家	うち非農家	うち非農家	うち非農家	うち非農家	うち非農家		
農協	45	28	44	27	1	1	230	78	100	50	130	28	13	9	5	3	8	6	288	115	149	80	139	35
株式会社	152	59	125	51	27	8	536	368	303	233	233	135	182	151	64	60	118	91	870	578	492	344	378	234
特例有限会社	94	23	68	17	26	6	338	194	202	118	136	76	78	42	19	12	59	30	510	259	289	147	221	112
農事組合法人	13	6	9	3	4	3	51	19	32	14	19	5	5	3	3	3	2	0	69	28	44	20	25	8
営農集団	96	9	57	4	39	5	503	26	138	9	365	17	117	23	45	16	72	7	716	58	240	29	476	29
合同会社	16	4	16	4	0	0	154	61	86	32	68	29	4	0	2	0	2	0	174	65	104	36	70	29
その他	19	4	1	1	18	3	247	10	46	4	201	6	10	2	0	0	10	2	276	16	47	5	229	11
計	435	133	320	107	115	26	2,059	756	907	460	1,152	296	409	230	138	94	271	136	2,903	1,119	1,365	661	1,538	458

## II 平成29年度コントラクター事業の実態

### 1. 全体(耕種+畜産)

◆受託農家戸数(回答組織数:耕種157、畜産153、重複組織あり)

○平成29年度に受託した農家戸数は、耕種が6,628戸で一組織当たり42戸、畜産が6,328戸で一組織当たり41戸であった。

○地域別では、耕種は空知、上川、十勝の順に多く、この3地域で全体の77.5%、畜産は根室、十勝、オホーツク、釧路の順に多く、この4地域で全体の76.1%を占めている。

振興局	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	計
耕種(戸)	2,197	14	14	204	46	117	242	1,886	329	0	523	1,056	0	0	6,628
構成比(%)	33.1	0.2	0.2	3.1	0.7	1.8	3.7	28.5	5.0	0.0	7.9	15.9	0.0	0.0	100
畜産(戸)	5	22	12	27	299	241	4	309	124	469	965	1,522	671	1,658	6,328
構成比(%)	0.1	0.3	0.2	0.4	4.5	3.6	0.1	4.7	1.9	7.1	14.6	23.0	10.1	25.0	100
計(戸)	2,202	36	26	231	345	358	246	2,195	453	469	1,488	2,578	671	1,658	12,956

◆受託実面積(回答組織数:耕種164、畜産153、重複組織あり)

○平成29年度に受託した実面積は、耕種が50,858haで一組織当たり310ha、畜産が155,988haで一組織当たり1,020haであった。

○地域別では、耕種は空知、上川、十勝の順に多く、この3地域で全体の82.3%、畜産は根室、十勝、オホーツク、釧路の順に多く、この4地域で全体の85.4%を占めている。

振興局	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	計
耕種(ha)	16,999	90	57	897	455	370	2,345	13,853	3,189	0	1,589	11,014	0	0	50,858
構成比(%)	33.4	0.2	0.1	1.8	0.9	0.7	4.6	27.2	6.3	0.0	3.1	21.7	0.0	0.0	100
畜産(ha)	8	263	342	499	1,503	3,713	8	2,476	0	13,952	33,087	34,285	21,611	44,241	155,988
構成比(%)	0.0	0.2	0.2	0.3	1.0	2.4	0.0	1.6	0.0	8.9	21.2	22.0	13.9	28.4	100
計(ha)	17,007	353	399	1,396	1,958	4,083	2,353	16,329	3,189	13,952	34,676	45,299	21,611	44,241	206,846

◆コントラクター事業の収支状況(回答組織数279)

○コントラクター組織のうち、コントラクター事業において「余剰がある」もしくは「均衡している」としているのは252組織で、回答数279組織に対して90.3%を占めている。

○「運営費に対する補助金」は46組織で、全体の16.5%が受けている。

○「機械・施設導入に対する補助金」は168組織で、全体の59.8%が受けている。営農集団では補助金を活用している組織が半数未満であった。

組織名	余剰がある	均衡している	赤字である	合計	運営費に対する補助金		機械・施設導入に対する補助金	
					受けている	受けていない	活用している	活用していない
合計(構成比(%))	47 16.8%	205 73.5%	27 9.7%	279 100.0%	46 16.5%	233 83.5%	168 59.8%	113 40.2%
農協	3	18	4	25	3	21	19	5
株式会社	8	47	9	64	12	67	51	29
特例有限会社	14	32	8	54	12	42	43	11
農事組合法人	1	10	0	11	4	7	9	2
営農集団	15	70	4	89	4	77	30	51
合同会社	1	13	1	15	2	9	6	5
その他	5	15	1	21	9	10	10	10

2. 耕種のみ

◆受託農作業の内容(回答組織数169)

○受託農作業の内容では、回答した169組織のうち118組織(69.8%)が収穫等作業を、114組織(67.5%)が栽培期間作業を、85組織(50.3%)が栽培前(収穫後)作業を行っている。  
○受託農作業を詳細にみると、「刈り取り・収穫・運搬」を行っている組織が100組織(59.2%)と最も多く、次いで「播種・移植」が84組織(49.7%)となっている。

栽培前(収穫後)作業	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク		
	心土破碎・溝掘り	耕起・整地	明・暗渠設置	融雪剤散布	除雪(野良いも対策等含む)	堆肥運搬	堆肥切り返し	施肥・堆肥散布		
85 50.3%	42 24.9%	67 39.6%	8 4.7%	32 18.9%	11 6.5%	14 8.3%	9 5.3%	33 19.5%		
栽培期間作業	ケ	コ	サ	シ						
	播種・移植	育苗	栽培管理(防除、除草)	追肥						
114 67.5%	84 49.7%	23 13.6%	68 40.2%	19 11.2%						
収穫等作業	ス	セ	ソ	タ						
	刈り取り・収穫・運搬	乾燥・調製	選別・出荷	副産物収穫・残さ処理						
118 69.8%	100 59.2%	57 33.7%	35 20.7%	19 11.2%						
その他	チ	ツ	テ							
	農閑期の除雪・排雪	農閑期の機械メンテナンス	その他							
33 19.5%	22 13.0%	17 10.1%	6 3.6%							

回答組織数
169
100.0%

◆作物別農作業内訳(回答組織数169)

○受託農作業の作物別では、「麦類」に係る作業を行っている組織が82組織(48.5%)と最も多く、次いで「水稻」が81組織(47.9%)、「豆類」が75組織(44.4%)の順となっている。  
○作物別、受託農作業別でみると、「豆類」の収穫等作業が60組織(35.5%)と最も多く、次いで「麦類」の収穫等作業が59組織(34.9%)、「水稻」の栽培期間作業が57組織(33.7%)の順となっている。

区分	水稻	麦類	てんさい	豆類	ばれいしょ	そば	なたね	野菜	不明	その他
栽培前(収穫後)作業	26 15.4%	43 25.4%	20 11.8%	30 17.8%	12 7.1%	25 14.8%	2 1.2%	14 8.3%	11 6.5%	5 3.0%
栽培期間作業	57 33.7%	46 27.2%	16 9.5%	37 21.9%	7 4.1%	32 18.9%	2 1.2%	10 5.9%	4 2.4%	6 3.6%
収穫等作業	39 23.1%	59 34.9%	9 5.3%	60 35.5%	9 5.3%	40 23.7%	8 4.7%	10 5.9%	2 1.2%	6 3.6%
その他	1 0.6%	2 1.2%	2 1.2%	2 1.2%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	3 1.8%	0 0.0%	0 0.0%
合計(実組織)	81 47.9%	82 48.5%	23 13.6%	75 44.4%	13 7.7%	47 27.8%	9 5.3%	19 11.2%	11 6.5%	11 6.5%

回答組織数
169
100.0%

### Ⅲ コントラクター組織についての市町村アンケート(回答市町村数171)

#### 1. コントラクターの設置状況について

市町村におけるコントラクター組織等、農業者の営農を支援する組織の設置状況は十分か(170市町村回答)

○地域におけるコントラクターの設置状況は、98市町村57.6%が、「十分整っている」または「ある程度は整っている」と回答している。

区 分	市町村数	構成%
①十分整っている	15	8.8%
②十分とは言えないが、ある程度は整っている	83	48.8%
③不足している	39	22.9%
④必要がない	33	19.4%
合 計	170	100.0%

#### 2. 地域農業者からの農作業委託ニーズについて

(1)地域農業者からの農作業委託ニーズは、前年と比べてどう変化していますか(166市町村回答)

○地域農業者からの農作業委託ニーズは、41市町村(24.7%)が「増えている」、69市町村(41.6%)が「増減していない」と回答している。

○ニーズが増えている要因は、担い手の高齢化や、経営の大規模化によるものが多い。

区 分	市町村数	構成%
①農作業委託ニーズは増えている	41	24.7%
②農作業委託ニーズは減っている	4	2.4%
③農作業委託ニーズは増減していない	69	41.6%
④把握できない	52	31.3%
合 計	166	100.0%

(2)地域農業者からの農作業委託ニーズは今後どうなると考えますか(157市町村回答)

○今後の地域農業者からの農作業委託ニーズは、67市町村(42.7%)が「増えていく」、88市町村(56.1%)が「当面変わらない」と回答している。

○「増えていく」とした市町村では、今後さらに高齢化が進み、経営規模が拡大することを理由に挙げているところが多い。

区 分	市町村数	構成%
①増えていく	67	42.7%
②減っていく	2	1.3%
③当面変わらない	88	56.1%
合 計	157	100.0%

(3)地域の農作業供給力(コントラクターが受けることのできる作業量)は今後どうなると感じていますか(153市町村回答)

○今後の地域の農作業供給力は、113市町村(73.9%)が「現状維持」と回答している。

○「増えていく」の理由としては、農作業委託ニーズの高まりに応じて供給力が増える、「減っていく」の理由としては、オペレーターの人材不足により供給力が減るという意見が多い。

区 分	市町村数	構成%
①増えていく	25	16.3%
②減っていく	15	9.8%
③現状維持	113	73.9%
合 計	153	100.0%

#### 3. コントラクターに対する支援について

市町村が実施しているコントラクター組織に対する支援【複数回答可】

区 分	市町村数	構成%
①運営費の助成	7	3.9%
②農作業機械の導入・更新に係る助成	24	13.5%
③事務局機能の分担	1	0.6%
④その他	24	13.5%
⑤支援はない	122	68.5%
合 計	178	-